

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） ～埋立部外周護岸（ケーソン護岸）1号函の据え付け完了～

～ 記者発表資料 ～

24時間365日の昼夜連続施工で進められている東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路）建設工事において、埋立部外周護岸の一部となる「ケーソン」と呼ばれる中空箱形状のコンクリート製大型ブロック（第1号函）の据え付けが7月18日（金）に無事完了した。

今回据え付けたケーソンは、幅11.5m、長さ20.0m、高さ11.1m、重量が約1,500tで、D滑走路進入灯橋梁の取付部護岸（延長100m、護岸水深A.P. -8.00m^{*1}）に据え付け予定の5函のケーソンの1つとなる。

また、7月19日には、物資搬出入のための岸壁部（延長220m、岸壁水深A.P. -8.00m^{*1}）にさらに大きなケーソン（幅16.0m、長さ20.0m、高さ12.5m、重量約2,100t）を据え付けた。岸壁部には、計11函のケーソンを据え付け予定であり、D滑走路としては合計16函のケーソンを製作し、据え付けることとしている。

スケジュールとしては、7月末までの約2週間で10函のケーソンを据え付け、作業船の出入り口として残す区間に6函のケーソンを来年据え付ける予定。7月24日現在、計4函のケーソンを設置完了とする予定。

作業工程としては、中空であることから、船と同様に浮かんだ状態のまま、製作・仮置き場所の東京港内から曳船によって据付け場所まで曳航し、位置を微調整しながらケーソン内に海水を注水して捨石マウンド上に据付け精度±10cm以内で設置し、設置後、ケーソン内に砂を投入して安定させ、最後に表層にコンクリートを打設して1函のケーソンを完成させます。

*1 A.P. : 海面からの高さを表す基準面の記号の1つであり、荒川工事基準面（Arakawa Peil）の略で、T.P.下1.134mが0位となっています。

平成20年7月24日（木）

国土交通省関東地方整備局 東京空港整備事務所

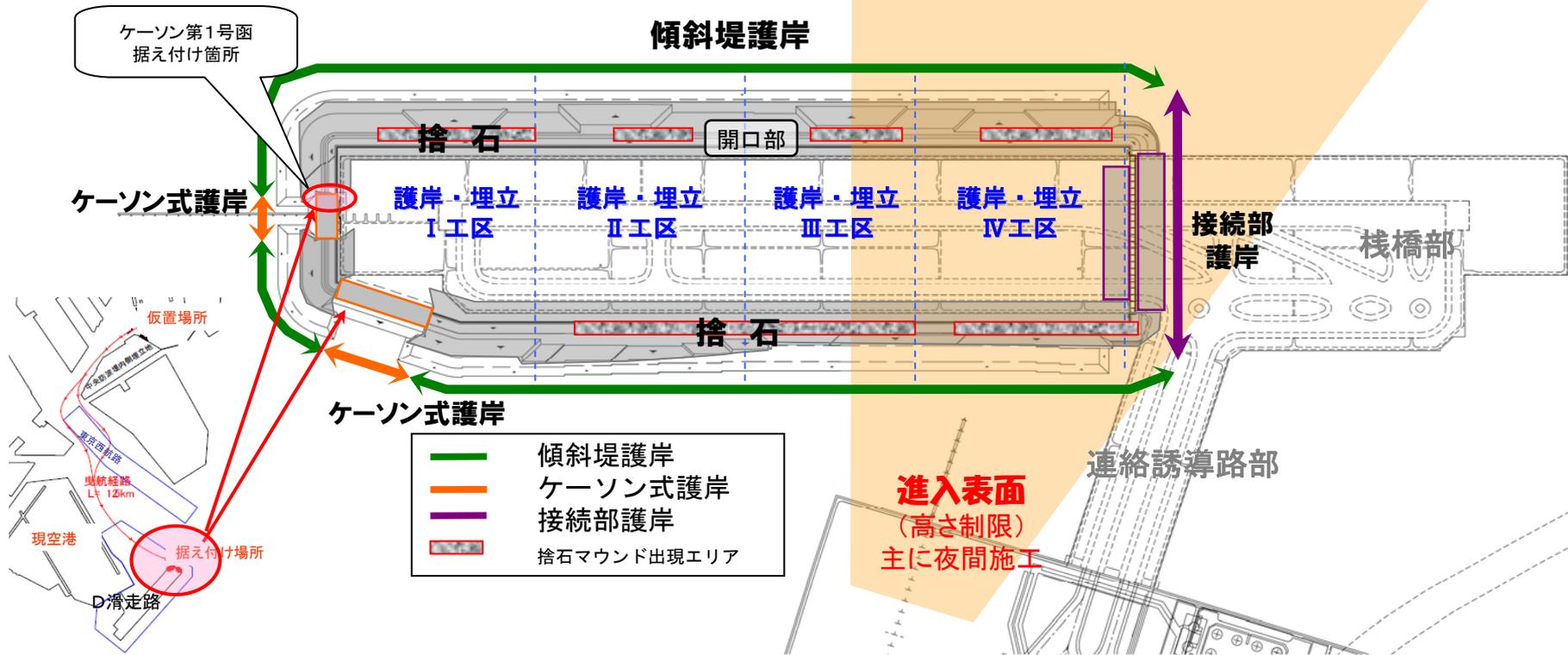
同時発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	横浜海事記者クラブ	神奈川建設記者会
都庁記者クラブ	千葉県政記者クラブ	東京航空記者会

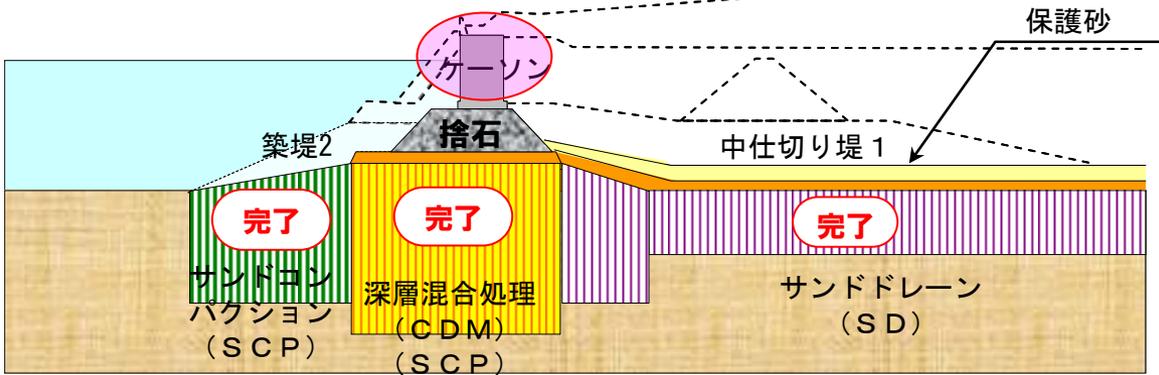
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室
担当 ^{うえはら}上原・^{はらだ}原田
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7 メンテナンスセンターアネックス 5階
電話 03-5756-6577
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

ケーソン据え付け状況



ケーソン式護岸 標準断面



ケーソン据え付け状況2（7月18日）

<護岸・埋立 I 工区>



ケーソン曳航(運搬)状況

ケーソン据え付け状況



ケーソン据え付け位置確認



ケーソン据え付け状況



ケーソン内海水注水状況